

## ～突撃★ドメーヌ最新情報！！～

### ◆VCN°53 カトリーヌ・リス

**生産地方：アルザス**

**新着ワイン3種類♪**

#### **AC アルザス ドゥス・ド・ターブル 2014 (白)**

2014年はエレガントで今飲んで最高のワインに仕上がっている。香りはレモンやシトラスなど清涼感のあるアロマがきれいに開いていて、まるで透き通ったミネラルジュースを飲んでいる感じでスイスイいける！その一方で、余韻に柑橘系の苦みの効いたやさしい旨味が長く後を引き、口の中の余韻を楽しませる！まさに薄ウマなヴァンドソワフの王道だ！

#### **AC アルザス リースリング ド・グレ・ウ・ド・フォルス 2014 (白)**

2014年は、2013年同様にキリっとした辛口に仕上がっている。一方、開けたての最初の香りは2012年のようアブリコットや黄桃などボリュームのあるワインを想像させるアロマがあり、そのギャップが何とも面白い！ドゥス・ド・ターブルのようにミネラリーで透明感があるが、ド・グレ・ウ・ド・フォルスの方がよりフィネスがあり輪郭がはっきりしている！余韻に残る纖細で染み入るような旨味も心地よく、一度飲み始めると止まらないワインだ！

#### **AC アルザス ピノノワール アンプラント 2014 (赤)**

2013年同様に軽やかでチャーミングなアルザスらしいピノに仕上がっている。2014年は、ショウジョウバエのスズキが猛威を振るった年だが、幸いカトリーヌの畠は標高の高いところにあるおかげで、スズキの襲来の前に全てブドウを収穫することができた！開けたては少し還元気味だが、しばらくするとヴァンナチュールの素敵なピノに共通するオレンジピールやシャンピニオンの官能的な香りが上がり、柔らかな果実味が旨味を残しつつスッと口の中に染み入る感じはもうたまらない！

#### **ミレジム情報 当主力トーニュ・リスのコメント**

2014年のアルザスは、広範囲にミルデューやイオディウム、ショウジョウバエが蔓延したが、私のドメーヌはほとんど被害なく無事健全なブドウを収穫することができた。冬は暖冬で、霜が降りずに暖かいまま春を迎えた。春も4月5月と気温が初夏のように暑く乾燥していた。この時点で、すでにブドウの成長ペースは例年よりも3週間近く早かった。だが、開花が終わる6月終わり頃から天候は一転、雨が多く気温の上がらない不安定な天気が8月まで続いた。前倒ししていたブドウの成長ペースは徐々にブレーキがかかり、畠ではミルデューなどの病気が心配された。畠は急こう配上連日の雨でぬかるんでトラクターを入れることができず、ボルドー液散布や草刈りは全て手作業で行わなければならなかった。8月の終わりに入ると、長く続いた雨が收まり、再び熱い太陽が戻ってきた。そのまま9月10月とまるで初夏のような快晴が続き、ブレーキのかかっていたブドウの成長に一気にエンジンがかかる。ブドウは収穫までに無事熟し、きれいで健全な房を取り入れることができた。

#### **「ヨシ」のつ・ぶ・や・き**

今回日本でリリースする2014年のワインは、カトリーヌ自信が好みとするエレガントで女性的なタイプに仕上がっている！しかも、2014年は自分のカーヴで仕込んだ記念すべき最初のヴィンテージだ♪

以前まで彼女は自宅のすぐ近くにあるルカ・リッフェルのドメーヌで秘書をしながらカーヴの一部を間借りしてワインをつくっていたが、この年から正式に独立を果たした。彼女にとっては初の単独カーヴでの仕込みで、是が非でも成功させたいと言っていたヴィンテージだ！その思いが天に通じたのか、まわりがスズキの被

害に遭う中、彼女のブドウは奇跡的にほとんど被害なく健全な状態のまま収穫を迎えることができた！「スズキは平地に近い比較的暖かい場所から順に大量発生し被害を拡大していったが、私の畠は幸いどれも標高の高い場所にあり、スズキが上昇する前にブドウを全て取り入れることができた！」と語るカトリーヌ。

実は、この年私自身も半日だけリースリングの収穫に参加したのだが、どのブドウも黄金色に熟していて、選果の必要がないくらいきれいだった。（その前日にガングランジェの収穫に参加し、スズキにやられたゲヴュルツとピノノワールの選果に苦労したのに比べると、彼女は本当に幸運だったと思う）

一方、2014年のシッフェンベルグは、まだ発酵が終わり切らないためリリースが遅れている。日本でリリースは2017年になる予定だ。

2012年のドメーヌ立ち上げから2年間、出鼻をくじかれるように天候の試練に苦しんだカトリーヌだが、新しいカーヴに移転して流れが変わったと信じたいところだ！

（2014.10.4 の突撃収穫 & 2016.2.6. のドメーヌ突撃訪問より）